

# 達成状況評価書(平成25年度)

部局名:情報科学研究科

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、リーディング大学院プログラムである「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」を開始し、俯瞰力、独創力を備えグローバルに活躍のできるリーダーの養成や新しい情報システムを構想できる技術者・研究者を養成するための教育プログラムを設計するため、カリキュラムの調整を行っている。(履修生受け入れ28名、Pre-QE(博士の学位取得に向けた予備審査)合格者24名。)また、英語だけで修了を可能とする英語コースを設置し、26年度学生受け入れを決定するなど、積極的に取り組んでおり、大学の成果として評価できる。 【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際共同研究の38件を推進したほか、HP、研究者向けメーリングリストにより国際公募を実施し、意欲のある女性研究者の積極的な応募を求めるため、教員公募の際に記載し、公募6件を行うなど、積極的に取り組んでいるほか、所属教員が山下記念研究賞を受賞するなど、研究成果が上がっており、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~17)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、NTT等との技術交流会の開催を契機に、情報科学研究科が事務局となって共同研究の可能性を目指したマッチング活動を行った結果、大学全体で3件(うち1件は情報科学研究科)のマッチングが成立するなど、積極的に取り組んでおり大学の成果として評価できる。 また、融合科学を国際的視野で先導する人材の育成(PRIUS)プログラムを発展し、インターンシップ、若手教員海外派遣、海外渡航助成などの事業により16名の若手教員、学生を海外に派遣するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究科の教員裁量ポストの再設定に関し、専攻長会、計画委員会を通じて研究科の将来像を含めて議論を行い、教員配置に対する基本的な方針を決定したほか、建設計画が認められた第三期棟の建設の具体的な建築・設計を行うなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。</p>
<p>5. 全体の項目に関する達成状況</p>	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、リーディング大学院プログラムである「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」の開始、デザイン力養成のための教育として、インタラクティブ創成工学基礎演習の実施、38件の国際共同研究の実施、企業とのマッチング活動など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。</p>